

たやちょうつみ
田谷町堤遺跡

横浜市栄区 No.111

- 調査期間** 2017年7月1日～調査中
- 所在地** 横浜市栄区田谷町
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生
- 調査原因** 国土交通省関東地方整備局による高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** JR大船駅の北西約2.5キロに位置し、柏尾川の支流、関谷川付近の微高地上～低地に立地する



主な調査成果

発掘作業は、調査対象範囲を現道・水路を境に1～4区に分け、2019年度は約半年の期間で実施しています。1区は道路西側・丘陵下の平坦面で北側・中央・南側に細分し、2区は道路・水路の東側、3区は道路東側で水路に挟まれた範囲、4区は道路部分で、各地点において弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代～中世前半、中世後半、近世の五つの遺構面で土坑、ピット、溝状遺構などを検出しています。奈良・平安時代の遺構では柱穴規模の大きい掘立柱建物が、調査区の最も標高の高い場所で検出されています。遺物は中世～近世の陶磁器類のほか、かわらけの破片や木杭等の木製品、金属製品などが調査区全体から出土しています。また古墳時代～奈良・平安時代の土師器片と共に杭や板材などの木製品が確認されています。



調査区全景



奈良・平安時代掘立柱建物